

## (日々雑感 5)



六畳一間の家の中が「百均」だらけになりました。都会に出たときに買い込んできたのです。2000円で20個もの商品が手に入るなんて、今更ながらにびっくりです。掛け時計、お茶碗、どんぶり、箸、ミニ工具、マグカップ等等など。

とにかく、

お金がないので、電車やバスに乗って遠くには出かけられません。

お金がないので、おいしいものも食べられません。

お金がないので、飲みにも行けません。

お金がないので、テレビもありません。

買い物もスーパーか百均だけ。街に出たときに。

それで、何をやっているかというとお金のかからないことばかりです。

仕事。お散歩。会話。おうち呑み。

タイムスリップして、江戸時代か明治の初めの人間になったみたいです。

しかし、それでも結構楽しい、んです。お金がないから工夫することが楽しいんです。

子供の頃、家は貧乏ではないのに、何も買ってもらえなくて、みんながプラモデルのガンをもっているのに、何もないぼくは仕方なく自分で工作して機関銃なんかを造って遊んでいた頃のことを思い出しました。

結局、自分の財産で、このアタマとこころと身体しかないんだと、改めて痛感しております。

あとは、みんなバブル。だからこの三つを十二分に使い回して行く。そして楽しむ。

家には帰れない。お金も自由に引き出せない状態。それを楽しむしかない。取りあえずでも。

だから、日頃から、あまり高いポジションに既得権の心理的「常態」を置かない方が良いのかなとも思いました。